

# ミステリ読書案内

2024. 8. 18 発行元

第598号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

## 青崎有吾「地雷グリコ」

昨年(2023)の11月に角川書店から青崎有吾の『地雷グリコ』が出た。当時、本を発見できずに見逃していた。地方の書店に入荷した量はごく少なかったのではないだろうか。ようやく読み終えた傑作ミステリを紹介しよう。

### 「本格ミステリ大賞」受賞作

私がこの本の存在を知ったのは「本格ミステリ大賞」「日本推理作家協会賞」「山本周五郎賞」の三賞を受賞したニュースを聞いてから。それまでずっと気が付かないまま見逃していた。地方の新刊書店ってそんなものだと思う。在庫がない、補充がないのだ。本が手に入ったのは直木賞候補に上がる直前になってからのこと。楽しみに取っておいて、ゆっくり読んだ。これは私好みの傑作ミステリだ。

### 殺人は無くても十分に楽しめる

簡単に言えば「ゲーム小説」で、殺人などは登場しない。ある意味非常にマニアック。読者によって好き嫌いの出る作品かもしれない。第一話の『地雷グリコ』を読んでいる途中では、小川哲の『君のクイズ』に通じる面白さを感じたのだが、第二話の『坊主衰弱』に進む頃には泡坂妻夫の『11枚のとらんぷ』の魅力を思い出していた。作者によって

仕掛けられた罠にまんまと嵌まって「騙される面白さ」が満杯に詰まっている。「なるほどそうなのかあ」という発想の転換の連続。こういうミステリもまた素晴らしい。青崎有吾の持っている才能が存分に発揮されていると思う。

### 四十六段の石段でジャンケン

探偵役というか主役は高校一年生の射守矢真兎(いもりやまと)。その友達の鉢田が主な視点になる。(時々視点は変わることがある)

『地雷グリコ』は文化祭の催し物会場の場所取りをかけたの石段ジャンケン勝負。四十六段の石段で、ゲーで勝つと三段上がる。パーとチョキは六段上がる…それに特殊ルールがついてくる。ルールを理解するのがちょっと面倒に感じるかもしれないが、そこに妙味があることがわかる。頭脳戦でもあり心理戦でもある。相手かどう考えるかをロジックで考え組み立てていく。

『坊主衰弱』は、出入り禁止を言い渡された「かるた部」のために

### 青崎有吾作品リスト

1. 体育館の殺人
2. 水族館の殺人
3. 風ヶ丘五十円祭りの謎
4. アンデッドガール・マダーファルス1
5. 図書館の殺人
6. ノッキンオン・ロックドドア
7. アンデッドガール・マダーファルス2
8. 早朝始発の殺風景
9. ノッキンオン・ロックドドア2
10. アンデッドガール・マダーファルス3
11. 11文字の檻
12. アンデッドガール・マダーファルス4
13. 地雷グリコ

カフェ店主を相手に百人一首札を使った勝負に挑む。基本は「坊主めぐり」なのだが、歌人の「男」、「姫」、「坊主」でペアを作る特殊ルール。百人一首の歌人が頭に入っていることが大切。店主が仕掛ける卑怯な手を覆することができるか…。

### 後半も緊張感たっぷり

ゲームは全部で五種類あり、後半になるほど大がかりで複雑になっていく。真兎と鉢田の中学時代からの因縁の人物も絡んできて、ゲームはより緊張感を増す。最後は過激な禁じ手のようなものまで用いられるようになりゲームは混沌とした状態に…。最後の勝利は誰のものになるのか…。気が抜けない。

## 今村昌弘『明智恭介の奔走』

6月に東京創元社から出た本。『屍人荘の殺人』から始まった『剣崎比留子シリーズ』に繋がる短編集。『屍人荘』以前の出来事であって、剣崎比留子は登場せず、神紅大学ミステリ愛好会が舞台で、会の長である明智恭介と入学したばかりの葉村が物語を進める形になっている。『ミステリーズ!』と『紙魚の手帖』に掲載したものに書下ろし作品がついて五編で構成されている。収録作品はいずれも「本格謎解き」のロジック中心の描き方になっている。

巻頭作の『最初でも最後でもない事件』は大学の古いサークル棟でおきた盗難騒ぎ。午前一時頃、大学の警備員がサークル棟に怪しい光が動くのを見て中に入ってみたところ、一階廊下の突き当たり付近に泥棒らしき人物が気を失って倒れているのを発見。警察と救急車が呼ばれたが、被害はその泥棒のポケットに入っていた模造品の装身具くらいだった。病院で事情を聞かれた泥棒が言うには、もうひとり侵入者がいたというのだ。その人物と争い気を失ったのだという。警察は泥棒の言い分をまったく信用しなかったが、その侵入者は誰でもどんな目的で行動していたのかを明智と葉村が推理する流れに。小さな動きを分析し論理を積み上げていく…。第三話『泥酔肌着引き裂き事件』は明智自身の身に起こった出来事。探偵が深酔いして記憶を失ってしまうとは…。鍵のかかった密室の部屋というところがポイントか。論理はかなりの綱渡りかな? ?